

1 基本理念

認定特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団（以下「事業団」という。）定款第3条を踏まえ、事業団は基本理念を次のように掲げています。

障害者がサービスの受け手から担い手となるように支援し、就労や社会参加を通じて、自らが社会の一員であるとの誇りや自信を持ちながら生活を送り、区民・企業・行政とが協力しあい、共に支え合う地域社会の実現をめざします。

2 経営理念及び経営ビジョン

令和5年度を取組である次期中期経営計画の策定に当たり、事業団の経営理念及び経営ビジョンを次のように掲げます。

(1) 経営理念

すべての障害者の物心両面の幸福を追求するとともに、障害のある人もない人も共に働き共に生きる社会の実現に貢献します。

(2) 経営ビジョン

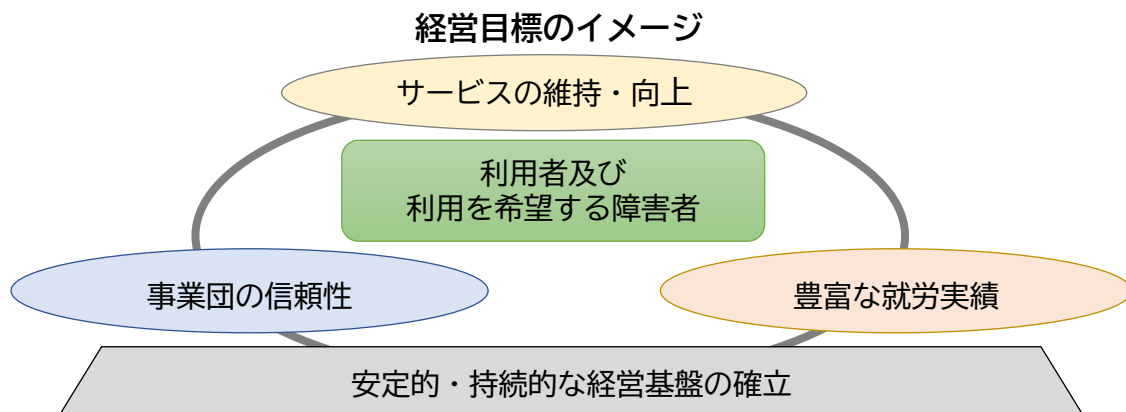
障害者の一般就労者数（超短時間就労者含む）日本一の障害者就労支援事業所をめざします。

3 経営目標

現行の中期経営計画（令和3年度～令和5年度）では、将来に向かって事業団としての目標を明確にし、職員全員が常に目標を持ちながら就労支援に取り組むため、次のとおり事業団の経営目標を設定しています。

障害者が事業団の就労支援事業を安心して利用できるよう、
安定的・持続的な経営を実現します。

利用者だけでなく、事業団のサービスの利用を希望する全ての障害者が、安心して事業団による就労を支援する事業を利用できるようにします。そのため、事業団が提供するサービスの維持・向上を基本に据え、事業団に対する信頼と就労実績を高めていきます。



4 令和5年度の重点取組

(1) 職員の専門性の向上

昨年度は個別支援計画やマニュアルの策定・活用等による支援の質的向上に取り組んできましたが、令和5年度はさらに職員の専門性の向上を図ります。

- 社会福祉士や精神保健福祉士などの国家資格取得率の向上
- 職場適応援助者研修の受講
- 主任相談支援専門員講習の受講
- 新入職員のOJT研修の実施
- 障害者就労に関するスーパーバイザーの活用

(2) デジタル技術を活用した事業の利便性向上や業務改善

新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者就労支援の現場でもデジタル技術を活用したサービス利用等が進められています。支援計画や相談記録の電子化やスマートフォンを活用した情報共有等は効率化だけでなく、属人的な業務の一般化やマニュアル化等による業務改善にも繋がります。

- ITコンサルタントを活用した中長期的なDX化の推進
- タブレットを活用した就労訓練プログラムの実施（在宅利用にも対応）
- オンラインを活用した面談や会議の実施
- 電子帳簿保存法やインボイス制度等の法改正に伴う対応

(3) 関係機関等との連携強化

業務委託契約の委託者との連携を強化するとともに、就労支援センターかもめに求められる区内事業所や企業等との連携を強化します。

- 港区障害者福祉課（指定管理者含む）及び人事課との連携による事業の実施
- 特別支援学校、ハローワーク、教育センターとの連携による利用者増への取組
- 区内事業所及び企業等との連携による障害者就労支援ネットワークの強化

(4) 次期中期経営計画の策定

事業団を取り巻く外部環境の変化や利用者等のニーズ及び港区の施策等を踏まえ、令和6年度からの3年間の道筋を明らかにする中期経営計画を策定します。

- 人材育成方針及び研修計画の策定
- 固有職員のみで運営する新たな組織体制の構築
- 障害者総合支援法に基づく新サービス（就労選択支援）の実施に向けた検証

(5) その他

- HPやパンフレットのリニューアルによる積極的なPRの推進
- 就労継続支援A型事業所の運営強化や出張所のあり方整理
- カフェ・ドゥーにおけるコンサルタントを活用した営業力強化
- 超短時間雇用等による多様な働き方の推進
- 精神保健福祉士養成に係る実習生の積極的な受入

5 事業計画

就労移行支援事業（就労定着支援事業含む）			はばたき			
令和5年度の主な取組内容	【利用者】	①年度内実利用者数（就労移行19人／就労定着6人）を実現します。				
	【就職者】	②就職者数6人を実現します。				
	【人材育成】	③新入職員向けOJT研修を実施します。				
	【支援向上】	④プログラム内容を拡充します。				
数値目標	①利用者数（年度内利用実人数）19人の実現		収 支 計 画	収入	29,314千円	
	夏季期間	□特別支援学校在校生向け事業所体験会の実施		重点(3)	支出	18,984千円
	通年	□営業ツールの見直し（各種チラシ、パンフレットなど）		重点(5)	差引	10,330千円
		□PR方法の工夫（HP及びTwitter掲載内容など）		重点(5)		
数値目標	②就職者数6人の実現、④プログラム内容の拡充		収 支 計 画			
	5月～	□利用者の能力向上を促進する各種資格取得への取組開始				
		・ビルクリーニング技能検定やMO S検定などへの挑戦をサポート				
	四半期毎	□就労準備プログラムの定期的な見直し				
数値目標	③新入職員向けOJT研修		収 支 計 画			
	4月～	□新入職員向けOJT研修の実施		重点(1)		
		・障害者の就労支援に関する基礎知識の習得				
	9月	□実施内容の振り返りや今後の改善提案など				
数値目標	就労移行支援事業利用者数	19人	収 支 計 画	収入	29,314千円	
	就職者数	6人		支出	18,984千円	
	就労定着支援事業利用者数	6人		差引	10,330千円	

就労継続支援A型事業			カフェ・ドゥー		
令和5年度の主な取組内容	【就職者】	①就職者数1人を実現します。			
	【収支】	②年間売上目標792万円（月平均66万円）を達成します。			
	【その他】	③利用者支援の充実を図ります。			
		④計画的な設備更新により安心・快適に働ける職場環境を実現します。			
数値目標	①就職者数1人の実現、③利用者支援の充実		収 支 計 画	収入	22,502千円
	上半期	□就労支援センターかもめ（以下「かもめ」という）との連携した就労準備への取組		支出	26,791千円
	下半期	□面接会や体験実習等への参加による就労意欲の向上		差引	▲4,289千円
	通年	□マッチングの推進、店内業務の見直し			
数値目標	②年間売上目標792万円（月平均66万円）の達成		収 支 計 画		
	通年	□コンサルタントを活用した営業力強化			
		・販売商品の魅力向上のため、現在のメニュー見直しや新商品の開発			
		□店内環境向上への取組			
		・フリーWi-Fiやコンセントの設置、店内レイアウト見直し			
数値目標	利用者数	5人	収 支 計 画	収入	22,502千円
	就職者数	1人		支出	26,791千円
	年間売上	7,920千円		差引	▲4,289千円

就労継続支援A型事業			トロア		
令和5年度の主な取組内容	【就職者】	①就職者数1人を実現します。			
	【収支】	②年間売上目標480万円（月平均40万円）を達成します。			
	【その他】	③利用者支援の充実を図ります。			
	①就職者数1人の実現、③利用者支援の充実				
	上半期	□かもめと連携した就労準備への取組			
	通年	□超短時間雇用など多様な働き方の提案、マッチングの推進			
	②年間売上目標480万円（月平均40万円）の達成 重点(5)				
	通年	□カフェ・ドゥーとの連携による季節感ある商品提供やイベント参加			
		□企業と連携した注文販売の取組			
		□サンドウィッチ販売の再開			
数値目標	利用者数	5人	収支計画	収入	12,059千円
	就職者数	1人		支出	12,397千円
	年間売上	4,800千円		差引	▲338千円

就労継続支援A型事業			センター清掃／南麻布清掃洗濯		
令和5年度の主な取組内容	【就職者】	①就職者数（センター1人／南麻布1人）を実現します。			
	【利用者】	②利用者数（センター7人／南麻布6人）を実現します。			
	【その他】	③利用者支援の充実を図ります。			
	①就職者数（センター1人／南麻布1人）の実現				
	上半期	□かもめと連携した就労準備への取組			
	通年	□外部講習会等を活用した利用者の作業能力向上への取組			
		□本人希望に合った就業場所・働き方の提案、マッチングの推進			
	②利用者数（センター7人／南麻布6人）の実現				
	随時	□かもめや区内事業所との連携による見学・実習の受入			
		□特別支援学校との連携による利用者獲得 重点(3)			
	③利用者支援の質的向上 重点(5)				
	6月～	□就労継続支援A型事業所の職員配置の見直しによる運営強化			
センター清掃					
数値目標	利用者数	7人	収支計画	収入	27,934千円
	就職者数	1人		支出	23,686千円
	—	—		差引	4,248千円
南麻布清掃洗濯					
数値目標	利用者数	6人	収支計画	収入	30,541千円
	就職者数	1人		支出	22,473千円
	—	—		差引	8,068千円

相談支援事業		相談支援		
令和5年度の主な取組内容	【質的向上】	①相談支援の質的向上を図ります。 ②関係機関と連携し、支援体制の強化を図ります。		
	【利用者】	③令和5年度末利用者数94人を実現します。		
	①相談支援の質的向上 重点(1)	<p>適時 <input type="checkbox"/>主任相談支援専門員講習の受講、内部への伝達研修の実施</p> <p>通年 <input type="checkbox"/>事業所連絡会での情報収集や外部研修の受講等による相談技術の向上 ・生活面のサポートの必要性から介護保険等の研修受講</p>		
	②関係機関との連携による支援体制の強化 重点(3)	<p>通年 <input type="checkbox"/>関係機関と連携したケース会議の実施等による支援体制の強化</p>		
数値目標	③令和5年度末利用者数94人の実現（1月当たりの利用者数27人）	<p>通年 <input type="checkbox"/>事業所の強みである就労系の相談を中心に新規利用者募集 重点(3) ・事業所連絡会等での新規利用者募集の周知</p> <p><input type="checkbox"/>ICT技術を活用した事務の効率化の推進 重点(2) ・オンライン面談やシステム導入による事務の効率化</p>		
	対象利用者数	94人	収 入	4,711千円
	1月当たりの利用者数	27人	支 出	6,558千円
	-	-	差 引	▲1,847千円

障害者就労援助事業		かもめ（港区障害者就労支援センター）			
令和5年度の主な取組内容	<p>【連携強化】 ①法人内各事業所及び関係機関との連携により支援体制を強化します。</p> <p>【新規登録者】 ②新規登録者数50人を実現します。</p> <p>【就職者】 ③就職者数30人を実現します。</p> <p>【超短就職者】 ④超短時間雇用による就職者数10人を実現します。</p> <p>【就職定着率】 ⑤就職定着率95%を実現します。</p>				
	<p>①法人内各事業所及び関係機関との連携による支援体制の強化</p> <p>通年 <input type="checkbox"/> 求職から定着まで個々に応じた丁寧な支援の実施 <input type="checkbox"/> 法人内各事業所及び関係機関と連携した就労意欲を向上させる取組推進 ・講座や勉強会の企画運営、見学や体験実習などの調整</p> <p>②新規登録者数50人の実現</p> <p>通年 <input type="checkbox"/> <u>精神・発達領域の対象者へのアウトリーチ実施</u> 重点(3) ・区内の精神科クリニック、デイケア、就労移行支援事業所等への広報</p> <p>③就職者数30人の実現、④超短時間雇用による就職者数10人の実現 重点(5)</p> <p>通年 <input type="checkbox"/> <u>求職者支援の実施</u> <input type="checkbox"/> <u>職場開拓や超短時間雇用の紹介などによる多様な働き方の提案</u> <input type="checkbox"/> 訓練プログラムの構築や企業支援・啓発活動の手法確立 <input type="checkbox"/> 希望者を確実に就職に繋げられるようにマッチング精度の向上</p> <p>⑤就職定着率95%の実現</p> <p>適時 <input type="checkbox"/> <u>支援員の専門性を向上させるために職場適応援助者研修の受講</u> 重点(1)</p>				
数値目標	新規登録者数	50人	収支計画	収入	39,278千円
	就職者数	30人		支出	31,514千円
	超短就職者数	10人		差引	7,764千円
	就職定着率	95%		—	—

障害者就労援助事業			インターンシップ		
令和5年度の主な取組内容	<p>【新規実習生】 ①新規実習生4人を実現します。</p> <p>【就職者】 ②実習経験者4人を一般就労へ繋げます。</p> <p>【就労体験の充実】 ③多様な就労体験により実習効果を高めます。</p> <p>【その他】 ④人事課（委託者）との連携強化を図ります。</p>				
	<p>①新規実習生4人の実現 重点(5)</p> <p>募集前 <input type="checkbox"/>HPやTwitterを活用したPR強化、区内関係機関等への募集案内配布 <input type="checkbox"/>広報みなと等の区内地域情報誌等によるPR</p>				
	<p>②実習経験者4人を一般就労へ</p> <p>各月 <input type="checkbox"/>かもめと連携し、個々のニーズに応じた就労支援を展開 ・かもめへの登録、短時間就労を含む多様な求人情報の提供</p>				
	<p>③多様な就労体験による実習効果向上</p> <p>通年 <input type="checkbox"/>本庁舎の花壇管理やデータ入力等のPC業務など、就労体験メニューの増 <input type="checkbox"/>対応可能な業務の積極的な発信による新たな業務の受注促進</p>				
数値目標	④人事課との連携強化 重点(3)				
	通年 <input type="checkbox"/> 人事課と連携し、障害者就労に関する区職員等への周知・啓発				
	新規実習生	4人	収 支 計 画	収 入	5,967千円
実習経験者就職者数	4人	支 出		6,135千円	
—	—	差 引		▲168千円	

障害者就労援助事業			共同受注		
令和5年度の主な取組内容	<p>【区内事業所受注件数及び受注額】 ①受注件数130件、受注額1,500万円を実現します。</p> <p>【その他】 ②共同受注参画事業所に関する報告書を作成します。</p>				
	<p>①受注件数130件、受注額1,500万円の実現</p> <p>通年 <input type="checkbox"/>HPやTwitter（商品PR等）を活用したPR強化 重点(5) <input type="checkbox"/>港区内イベント等の年間予定表の作成等、主体的な営業活動の実施</p>				
	<p>②共同受注参画事業所に関する報告書の作成 重点(5)</p> <p>上半期 <input type="checkbox"/>自主製品紹介チラシの作成 →作成した報告書やチラシを活用したPR活動の推進 ・その他、障害者優先調達推進法に関する啓発用リーフレットを作成し、官公庁や民間企業等への更なる理解の促進及び新規受注の獲得</p>				
	数値目標	区内事業所受注件数	130件	収 支 計 画	収 入
区内事業所受注額		15,000千円	支 出		23,461千円
—		—	差 引		3,496千円

障害者就労援助事業			福祉売店はなみずき		
令和5年度の主な取組内容	<p>【新規利用者】 ①新規利用者2人を実現します。</p> <p>【就職者】 ②就職者数1人を実現します。</p> <p>【その他】 ③自主製品のPRを強化し売上増加を実現します。</p>				
	<p>①新規利用者2人の実現 重点(5)</p> <p>通年 <input type="checkbox"/>超短時間雇用の推進など、多様な希望を持つ利用者を柔軟に受入</p> <p><input type="checkbox"/>かもめと連携した各支援機関への周知・広報活動</p> <p>②就職者数1人の実現</p> <p><input type="checkbox"/>個々の状況に応じた個別支援計画の策定、本人のニーズを踏まえた丁寧な就労支援、かもめとの連携によるマッチングの強化</p> <p>③自主製品のPRを強化した売上増加の実現 重点(5)</p> <p><input type="checkbox"/>自主製品をHPに掲載、イベント等への出店</p>				
数値目標	新規利用者	2人	収支計画	収入	10,143千円
	就職者数	1人		支出	8,581千円
	年間売上	3,400千円		差引	1,562千円

障害者就労援助事業			(障害保健福祉センター) 受付案内		
令和5年度の主な取組内容	<p>【新規利用者】 ①新規利用者2人を実現します。</p> <p>【就職者】 ②就職者数1人を実現します。</p>				
	<p>①新規利用者2人の実現 重点(5)</p> <p>4月～ <input type="checkbox"/>新規利用希望者向けに写真や映像を取り入れた資料の作成・活用</p> <p>7月～ <input type="checkbox"/>かもめと連携し、区内就労系事業所等へのPR活動を展開</p> <p>②就職者数1人の実現</p> <p>通年 <input type="checkbox"/>就労移行支援事業所はばたきとの連携による就労準備の推進</p> <p><input type="checkbox"/>区内就労系事業所等の利用者の体験利用受入開始</p> <p><input type="checkbox"/>受付業務の質的向上を図るため、ビジネスマナー等の指導強化</p>				
数値目標	新規利用者	2人	収支計画	収入	1,884千円
	就職者数	1人		支出	1,770千円
	—	—		差引	114千円

係活動	職員研修
令和5年度の主な取組内容	<p>【悉皆研修】福祉専門職員及び組織の構成員として、基本的な倫理観や道徳観を身に付け、法人の理念や考え方を共有するために実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人理念や設立目的、定款、単年度及び中期計画等の学習会を実施 ・現状5つのテーマ（※）を掲げており、その中から年に1～2項目選定 <p>→令和5年度は「危機管理」を選定（10月～12月に実施予定）</p> <p>※「個人情報の取扱い」、「接遇」、「ハラスメント防止」、「情報セキュリティ」、「危機管理」、としています（「虐待防止」は毎年度実施義務あり）。</p> <p>【階層別研修】福祉専門職員としての専門性と組織性を学び、また今後のキャリアを主体的に描き、実践するための方法を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎研修（原則として一般職員を対象、ただし主任職以上も受講可） <ol style="list-style-type: none"> （1）専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣制度やスーパーバイザーを活用し、事業団が実施するすべての事業に必要な障害者福祉及び障害者就労支援に関する専門性の向上を図ります。 ・専門性の向上に係るテーマを2つ選定し、7月から10月の間に開催します。 （2）組織性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・組織性の向上に係るテーマを1つ選定し、法人内部の研修会を11月から2月の間に開催します。 2 キャリアパス研修（東京都福祉人材センター研修等を活用） <ol style="list-style-type: none"> （1）初任者研修（実施時期：7月～11月予定） <ul style="list-style-type: none"> ・入職3年以内の職員を対象とします。チームの一員としての基本を習得し、福祉専門職員としてのキャリアパスの方向性を学びます。 （2）中堅職員研修（実施時期：8月～9月予定） <ul style="list-style-type: none"> ・入職後3年～5年経過している職員を対象とします。担当業務を自立的に遂行し、後輩職員への指導・支援が期待される中堅職員として、求められる役割や福祉専門職員としてのキャリアアップの方向性を学びます。 （3）リーダー研修（実施時期：1月～2月予定） <ul style="list-style-type: none"> ・主任職以上を対象とします。組織をけん引するリーダーとしての役割を遂行するための能力や知識を習得し、リーダーとしてのキャリアアップを図ります。

係活動	広報、利用者研修、地域交流等
令和5年度の主な取組内容	<p>【広報】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホームページ関係 4月～ ホームページの大規模リニューアルを実施し、事業団の魅力発信（PR強化） ・更新頻度の向上等によるホームページの閲覧者数の増加 2 事業団新パンフレット作成 4月 読み手が相談・利用したくなるように従来のデザインを大幅に変更 5月～ 新パンフレットを活用した営業・PR活動の推進 3 わいわい通信（毎月）、ステップアップ（年2回）発行 ★読み手が楽しめるように、興味を持ってもらえる情報や写真等を掲載 <p>【日帰り研修旅行／年2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修旅行を通じて利用者の社会経験と見識を深め、利用者及び職員の交流を促進（令和4年度実績） 第1回 マクセルアクアパーク品川 第2回 栃木県足利学校、あしかがフラワーパーク、いわふねフルーツパーク <p>【地域交流／マーマレード作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝浦及び海岸地域に自生する夏みかんを利用した地域コミュニティづくりへの参画 ★収穫体験やマーマレード作りを通じて町会や他の福祉施設の方々と交流を深めます。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用した利便性の向上及び業務の効率化（PC関係） ★かもめや共同受注等において大規模会議開催を視野に入れ、オンライン会議を実施するためのサービスの有料会員加入について検討